

長崎国際大学同窓会誌

Vol. 5
2013.2

[発行元] 長崎国際大学同窓会

〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7 長崎国際大学事務局

TEL.0956 (39) 2020 FAX.0956 (39) 3111 <http://www.niu.ac.jp>



第13回「開国祭」の様子

先輩と後輩～小さな同窓会～

オリハラ ケンジ
長崎国際大学同窓会 悠和会会長 折原 賢児



春寒の候皆様いかがお過ごしでしょうか。

私事ですが、広報誌発行に向けて筆をとるときは、決まって学生時代のことを思い返す習慣が身に付いてきました。2013年を迎える、気を引き締めながらもぼんやり思い返すのもいいものです。

さて、私は佐世保に住んでいるということもあるのか、同窓生とばったり会うことがよくあります。去年の暮れに後輩の実家で餅つきをやるというので参加したところ、偶然にもその場に同期がいました。思わず「えっ！」とテンションがあがり、同期に話を聞くと、高校で教師をしていたときの教え子がその後輩ということでした。理解するのに数秒の間があき、偶然と繋がりのすごさに興奮しました。それから皆で炊きたてのもち米に杵を振りおろしながら、色んな意味で歳月を感じました。

つきたての餅と皿うどんを食べた後、同期と後輩、三人で学生時代のことや今抱えていること、自然とそんな話になりました。“考えていたこと”“考えていること”すべてが同じではありませんが、そのときだからこそ思うことがあります。年齢は違えど、共感できること、年齢が違うからこそ互いに言えることがあります。先輩、後輩という縦のつながり、同期という横のつながり、同窓生という輪を感じたひとときでした。

私の話になってしましましたが、大なり小なり、同窓生で集まるというのは、ある意味刺激的でいいものです。いつでも集結できるように、私たち悠和会は準備を進めつつ、在学生への支援活動も行って参ります。今後とも同窓生の皆様のご理解とご協力よろしくお願い致します。

寒い日が続きますが、どうぞご自愛ください。

同窓会特別奨励金

同窓会より、在学生の学生生活がさらに有意義なものになるように、奨学基金として200万円を大学に寄付したところ、平成25年度より、「同窓会特別奨励金」という名称で、日本人学生と外国人学生合わせて20名に各10万円給付するようになりました。

この制度設立により、一人でも多くの学生が、夢や目標に向かって、有意義な学生生活が送れることを、同窓生一同願っています。

長崎国際大学同窓会
特別奨励金の流れ

同窓会

大学

在学生

長崎国際大学

近況報告

これから年度末・年度初めにかけて、大学では様々な行事が行われます。

学生は、後期試験も終り、春休み真っ最中です。健康栄養学科4年生・薬学科6年生は国家試験に向けて猛勉強中。就職活動に全力を尽くしている学生。部活動に汗を流す学生。アルバイトを頑張っている学生。旅行中の学生。と春休みの過ごし方は学生それぞれ。みなさんは、学生時代どのような春休みを過ごされたでしょうか？？学生時代が懐かしいですよね。さて、これから大学の行事予定です。

平成25年3月2・3日	薬剤師国家試験
平成25年3月9日	卒業式
平成25年3月16・17日	管理栄養士国家試験
平成25年3月23日	オープンキャンパス
平成25年4月2日	入学式

第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」に本学の学生が選手として出場しました。

第67回ぎふ清流国体は、日本全国の地域で行われた、国体ブロック予選を勝ち抜いた各県の成年男子・女子チームと、少年男子・女子チームが出場しました。長崎国際大学からは9名の学生が各県の代表選手として出場しました。

2014年にはいよいよ長崎がんばらんば国体が開催されます。今後もそれぞれの競技で各県の代表選手として、長崎国際大学の学生が活躍することを大いに期待しています。

アーチェリー部

【出場した選手】

丹野 天士	(たんの てんし)	国際観光学科2年《岩手県代表》
高谷 伸	(たかや しん)	国際観光学科2年《長崎県代表》
永峰 沙織	(ながみね さおり)	国際観光学科1年《長崎県代表》
大館 美沙	(おおだて みさ)	社会福祉学科1年《佐賀県代表》
木下 あすか	(きのした あすか)	社会福祉学科1年《山口県代表》

空手道部

【出場した選手】

辻 恵子	(つじ けいこ)	健康栄養学科1年《沖縄県代表》
吉安 珠樹	(よしやす たまき)	国際観光学科2年《長崎県代表》

ゴルフ部

【出場した選手】

山下 大介	(やました だいすけ)	国際観光学科4年《長崎県代表》
-------	-------------	-----------------

テニス部

【出場した選手】

齊藤 志緒美	(さいとう しおみ)	国際観光学科4年《長崎県代表》
--------	------------	-----------------

共に成長を

長崎国際大学 理事長 学長 安部 直樹

アベ ナオキ

厳しい冬の寒さの中、それでも凛として咲く椿の花に、やがて来る春本番を託しています。悠和会の皆さん、お元気ですか。長崎国際大学も創立12周年を迎えるました。あとひと月しますと卒業式を迎えます。

潮谷前学長の退任に伴い、4月に私が第三代の学長に就任いたしました。学生と向き合い、学生を育て、学生の成長を第一義とする大学を標榜しております。まだ一年足らずの期間の中で、すぐに成果をみることはできませんが、学生と教職員と距離は確実に近まってまいりました。近まつた学生たちの姿から私たちは彼らの成長や活躍を見ることができます。

就職戦線が厳しい中、眞のコミュニケーション力は、内容のある話ができ、相手の話を聴いて的確な質問ができる人材であり、相手の立場で物事を考えることができるか、それは傾聴力を要するものであります。その力を持った学生を授業やゼミ活動の中で見ると頼もしさを感じます。

また、10月には第54回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会にて、人間社会学部国際観光学科1年 永峰沙織さんが女子の部で優勝しました。同時に、大学としてもさまざまな機会に恵まれ、新たな一足を積み重ねています。健康生きがい学会、日本油化学会等、数多くの学会も開催され、作家の曾野綾子さんやノーベル化学賞受賞の下村脩先生の講演がありました。

本学を卒業し、社会に出た皆さん、世の中の厳しさも降りかかっていることでしょう。しかし、負けないで下さい。どんな時でも前向きに、ポジティブに生きて下さい。辛い時、苦しい時には、皆さんのが過ごした大学生活を思い出して下さい。友人、教職員、地域の人々と過ごした日々を懐かしみながら、明日へのエネルギーにして下さい。Home Coming Day!もあります。大学祭、同窓会(総会)もあります。是非、大学を訪ねてみて下さい。きっと、元気と安らぎを感じることができますのではなさいでしょうか。

皆さんの成長と共に大学もまた大きくなっています。学生に愛され、地域に愛され、社会に必要とされる大学として更なる成長をするそのためには、日々の努力と鍛錬が不可欠であると同時に、さまざまな理解・支援も必要です。それが卒業生の皆さんのがんばりであり、その力をもって大学もまた成長していくことができるのです。

大学で過ごした時間は、長い人生の中でみると短い時間かもしれません。しかし、その縁を大切に、これからも共に歩んで参りましょう。皆さんの健康と幸せを心より祈っております。



八風吹けども動ぜず

長崎国際大学 副学長 木村 勝彦

キムラ カツヒコ

例年になく厳しい寒さが続いたこの冬にも、ようやく微かながらも春の兆しが感じられるようになってきました。悠和会の皆さんには、変わりなく健やかにお過ごしでしょうか。

政権交代も行われて世相はめまぐるしく変化していますが、経済は相変わらず停滞しており、雇用状況も厳しいため、何かと苦労をされている同窓生も多いのではないでしょうか。しかし、春の来ない冬がないのと同じように、厳しい状況にも必ずや雪解けの春の日差しは巡ってくるものです。禅語に「八風吹けども動ぜず」という言葉があります。人生で出会う喜怒哀楽さまざまな状況の中でも、確固たる自分をして生きていくとの意です。今はまさに八風が吹きすさんでいますが、同窓生の皆さんには自分に自信を持って、春の訪れを心待ちに頑張っていただきたいと思います。

本学も安部直樹理事長が学長を兼任されるようになってから、一年が過ぎようとしています。学長の強力なリーダーシップの下、教育・研究の両面でのさまざまな改革に全学挙げて挑んでいるところです。大学を取り巻く八風の中で、建学の理念を堅持しながら、より強く生まれ変わろうとしている母校を応援してくださいますようお願いいたします。



第13回 開国祭

大学祭

テーマ：「歩」



同窓会の皆様、こんにちは。

第13回開国祭実行委員長の吉村大樹です。

今回の開国祭のテーマは、

「歩」～踏み出す勇気～と、させていただきました。

第13回 開国祭

実行委員長

ヨシムラ ダイキ
吉村 大樹



このテーマには、1人ひとりの発言力と実行力が成長できるようとの思いがこめられておりました。日々の活動で、実行委員1人ひとりが成長できたと思います。そして開国祭を迎える、1日目は晴れ、東國原英夫氏の講演会も盛況に終わり、その他ステージイベントも盛り上りました。2日目は、昼ごろから雨に見舞われましたが、スペシャルゲストのDEEPのLIVEもチケットが完売し、多くの来場者の方で盛り上がり、実行委員1人ひとりの素早い対応でイベントもすべて終えることができました。2日間の来場者も第12回を上回る6,500人と多くの来場者に来ていただき、今冬に嬉しい限りでした。何より、誰一人怪我することなく無事に開国祭を終えることができ本当にうれしかったです。今年は4年生として第14回開国祭実行委員をサポートしていければと思います。

平成24年度 学生公認団体全国大会出場団体・個人 H24.4~H24.12

テニス部

●九州学生春季テニス選手権

(平成24年5月17日～5月27日)

- 男子シングルス／ベスト8 石井晃(観4)
- 男子ダブルス／3位 大山雄大(観3)、リズマンアッサン(観2)
- 女子シングルス／2位 齊藤志緒美(観4)
- 女子ダブルス／1位 齊藤志緒美(観4)、田崎千茶(観3)

以上の結果により5名が

全日本学生テニス選手権出場権獲得(岐阜8月開催)

●九州学生夏季テニス選手権大会

(平成24年8月23日～9月3日)

- 女子シングルス／1位 齊藤志緒美(観4)
- 女子ダブルス／1位 齊藤志緒美(観4)、田崎千茶(観4)

●全日本大学対抗テニス王座決定試合九州地区予選

(平成24年9月3日～9月15日)

- 女子シングルス／1位 齊藤志緒美(観4)
- 女子ダブルス／1位 齊藤志緒美(観4)、田崎千茶(観4)

ゴルフ部

●九州学生春季リーグ戦(1部リーグ) (平成24年5月26日～27日)

- 団体／2位

以上の結果により

全日本大学ゴルフ対抗戦出場権獲得(北海道6月開催)

●九州学生ゴルフ選手権 (平成24年6月6日～7日)

- 1位山下大介(観4)、2位 境翔吾(観3)

以上の結果により

日本学生ゴルフ選手権出場権獲得(埼玉8月開催)

●スポーツニッポン新聞社杯争奪九州学生ゴルフ選手権

(平成24年8月9日～8月10日)

- 男子／個人1位 山下大介(観4)、2位 境翔吾(観3)

●九州学生ゴルフ選手権会長杯

(平成24年8月27日～28日)

- 男子／個人1位 山下大介(観4)

●日米大学ゴルフ対抗戦

(平成24年9月10日～13日)

- 男子／個人44位 山下大介(観4)

空手部

●全九州学生空手道選手権 (平成24年5月6日)

- 個人／1位 辻恵子(栄1)、大宅 愛華(観1)

●南部九州学生空手道選手権

(平成24年4月22日)

- 男子組手／1位 佐々木隼(観4)

- 男子団体／団体 2位

- 女子組手／1位 辻恵子(栄1)、3位 吉安珠貴(観2)

以上の結果により

全日本学生空手道選手権出場権獲得(大阪7月開催)

●西日本大学空手道選手権大会

(平成24年5月20日)

- 女子／団体 2位

●九州地区大学体育大会(空手)

(平成24年7月8日)

- 男子／団体 3位 ○女子／団体 1位

●全九州学生空手道選手権

(平成24年10月21日)

- 男子団体組手／準優勝 ○女子団体組手／優勝

●全日本学生空手道競技大会

(平成24年11月18日～19日)

- 女子団体組手／女子 ベスト16

アーチェリー部

●九州学生アーチェリー王座決定戦

(平成24年5月3日～4日)

- 男子団体／1位 女子団体／1位

以上の結果により

全日本学生アーチェリー王座決定戦出場権獲得(静岡6月開催)

●世界学生選手権大会最終選考会

(平成24年5月10日～12日)

- 個人／1位 永峰沙織(観1)

以上の結果により

世界学生選手権大会出場権獲得(スペイン7月開催)

●全日本学生アーチェリー西日本大会

(平成24年9月2日)

- 男子／個人 2位 高谷伸(観2)

- 女子／個人 2位 酒井尚子(観1)

●九州学生アーチェリー夏季個人選手権

(平成24年8月22日～24日)

- 女子／個人 1位 永峰沙織(観1)

- 男子／個人 1位 丹野天士(観2)

●全日本ターゲットアーチェリー選手権大会

(平成24年10月26日～28日)

- 女子／個人 1位

ソフトテニス部

●全九州学生ソフトテニス大会

(平成24年5月26日～28日)

- ベスト8／松川和揮(観3)、伊達匠(観1)

以上の結果により

全日本学生ソフトテニス選手権大会出場権獲得(山口8月開催)

●ナガセケンコー杯争奪全九州学生ソフトテニス大会

(平成24年10月6日～7日)

- 団体／女子3位 ○団体／男子1位

●全九州ソフトテニス秋季大会

(平成24年10月20日～23日)

- 個人／男子1位 松川和揮(観3)、伊達匠(観1)

女子バレー部

●天皇杯・皇后杯全日本バレー選手権大会県予選

(平成24年7月1日)

- 団体／1位

以上の結果により

九州大会出場権獲得(大分9月開催)

●秩父宮妃賜杯全日本バレー選手権大会女子選手権大会

(平成24年12月3日～9日)

- 団体／ベスト16

陸上競技部

●九州学生駅伝対校選手権大会

(平成24年11月30日～12月1日)

- 団体／4位

男子ソフトボール部

●九州地区ソフトボール秋季大会

(平成24年11月10日～11日)

- 団体／2位

吹奏楽部

●第39回長崎県アンサンブルコンテスト

銀賞

●第38回九州アンサンブルコンテスト出場

沖縄県

ダンスサークル

●平成24年度 のんのこ Street dance contest

準優勝

長崎国際大学同窓会「悠和会」役員紹介

広がる同窓会の輪

卒業後、この長崎国際大学に就職し、茶道文化の職員として働き、5年が経ちますが、在学していたあの頃と変わらない風景がここにあります。

変わったことといえば、大学を訪れる卒業生の皆さんが結婚しているたり、子供を連れて来たりするようになったことでしょうか。それも、驚くことに長崎国際大学で出会い、結婚されている方が沢山います！結婚式や出産のお祝いの度に大学の仲間が集い、大学にも遊びに来てくれます。長崎国際大学での出会いが幸せに繋がり、人ととの結びつきを強くしていると思うと、大変嬉しいります。

以前、広報誌で紹介があった時計台を覚えていますか？長崎国際大学のモットー“いつも、ひとから。そして、心から。”をコンセプトに、ハートがモチーフとなっている時計台。その時計台で撮られた写真が卒業生の結婚式のスクリーンで流れたり、今では卒業生や在学生のFacebookのプロフィール写真に使われていたりと、とても身近なものになっています。

同窓会が創立され、今年で5年目を迎えます。まだ数年しか経っていませんが、少しずつその輪が広がっていることを実感します。大学はもうすぐ卒業式です。今年も新たに多くの同窓会員をえます。大好きな母校の発展のために、そして、今後も同窓会の輪が広がっていくことを楽しみに、同窓会活動の更なる充実を目指していきたいと思います。これからも悠和会の活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。



人間社会学部
国際観光学科 5期生
ヤマモト サエコ
山本 祥代

常回看看！

みなさん、こんにちは。悠和会の留学生幹事を務めている3期生の章潔と言います。現在、本学の国際交流・留学生支援センターで勤めています。先週、佐世保は軽く雪が降りまして、まだまだ、寒い日は続きますね。平成24年度の卒業式まであと一ヶ月を切ってしまいましたね。気がつけば、長崎国際大学に来てから早10年、留学生であった私もすっかりこのキャンパスに慣れ親しました。

国際大はその名のとおり、従来留学生数が多く、国際色豊かな学府です。特に、近年、中国、韓国だけではなく、アメリカ、イギリス、カナダ、ネパール、ベトナム、タイ、ミャンマー、バングラデシュからの留学生も増えてきました。食堂に入ると、聞こえてくる学生たちのおしゃべりの声は「チ・レイ・マ（中国語、食事は済みました？）」、「マシソヨ（韓国語、おいしい）」、「サワディー（タイ語、こんにちは）」、「バオ・ニエウ・ティエン（ベトナム語、いくらですか？）」、「ナマステ（ネパール語、さようなら）」など様々。ご飯を食べながら、世界各国の言語も聞けて、なんだか得した気分です。

悠和会が発足した以来、留学生卒業生の参加が非常に少ないことが残念でなりません。私は留学生幹事として責任を痛感しています。一昨年、中国の上海で1期生と2期生合わせて15名が集まり、同窓会を開きました。ビザの関係でなかなか日本に来ることができない留学生や卒業生にとって、現地での同窓会が母校との絆を再確認する機会になるでしょう。

卒業生のみなさん、「常回家看看！」（母校に来てくれるのを心待ちにしています。



人間社会学部
国際観光学科 3期生
ショウ ケイワ
章 潔

九州文化学園矢岳キャンパス記念碑建立

平成25年1月31日(木)

佐世保市矢岳町の佐世保中央インターチェンジ下駐車場（設置場所）にて、記念碑の除幕式が開催されました。

この地は、九州文化学園高等学校並びに九州文化学園高等学校衛生看護専攻科、九州文化学園調理師専修学校、九州文化学園歯科衛生士学院、九州文化学園幼稚園、そして長崎短期大学（昭和六十年に椎木町に移転し、九州文化学園短期大学から改称）の学び舎があり、西九州道路の延伸計画に伴う平成十八年の学校移転までの間、約二万一千名の卒業生、卒園生を輩出してきました。

学校移転からおよそ七年の歳月が経過しましたが、この矢岳の地こそ、数多くの先輩たちが切磋琢磨し、本学が発展を遂げてきた歴史ある地である事を風化させぬために、今回建立に至りました。



建立された記念碑

●九州文化学園発展の地

昭和二十年、終戦の年、日本が貧困と動乱に喘ぐ中、安部芳雄氏は、佐世保市天神町に九州文化学院を創設し、昭和二十二年には九州女子専門学校、昭和二十三年には附属中学校を開設しました。そして、昭和二十三年九月に天神町から矢岳練兵場跡地へ移転。その後この地において、高等学校、幼稚園、短期大学、調理師専修学校、歯科衛生士学院が順次開設されました。爾来、平成十八年の全面移転（短期大学は昭和六十年に移転）までの五十八年間、ここ矢岳の地から数万人を超える卒業生が巣立っていました。平成十二年には、長崎国際大学がハウステンボス町に開学し、短期大学（椎木町）、高等学校（椎木町）、幼稚園（元町）、専修学校（藤原町）とともに、新たな歴史を刻み始めました。本学園は、創設者の想いと共に、未来へ飛翔する総合学園として歩みつづけてまいります。

【矢岳キャンパスの歴史】

- 昭和二十六年 九州文化学園高等学校開校
- 昭和二十九年 九州文化学園幼稚園開園
- 昭和四十一年 九州文化学園短期大学
(現長崎短期大学) 開學
- 昭和四十六年 九州文化学園調理師専修学校開校
- 昭和五十六年 九州文化学園歯科衛生士学院開校

平成二十四年十一月建立

学校法人九州文化学園 理事長 安部直樹